



ネクスト香川「EMC研究会」の開催報告

◇ノイズ対策におけるフェライトコアの特徴と使い方◇

公益財団法人かがわ産業支援財団が設置する「かがわ EMC 技術研究会」では、令和5年度の「EMC 研究会」を下記のとおり開催いたしました。

今回は、富山電気ビルディング株式会社の柴田 学氏をお招きして、「EMC 試験のための簡易シールドテント」をご紹介いただき、続いて北川工業株式会社の島倉 壮志氏に、「ノイズ対策におけるフェライトコアの特徴と使い方」について、御講演の後、対策方法を実演していただきました。また、「かがわ EMC 技術研究会」の古賀会長から、電磁波理論の基礎を平易にご解説いただきました。

県内外の会員企業や関係する行政機関及び県外企業などから、92名(会場参加 40名、オンライン参加 52名)の参加があり、熱心に聴講されていました。

- 開催日時 令和5年6月23日(金) 13:30~16:00
- 会場 香川産業頭脳化センタービル 2階「一般研修室」
〒761-0301 高松市林町 2217 番地 15
- 参加方法 会場に来場又はオンライン(Teams)での参加
- 対象 研究会会員等
- 内容

1 挨拶・開会の挨拶	かがわ EMC 技術研究会会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治氏
2 かがわ EMC 技術研究会 総会	かがわ EMC 技術研究会 事務局
3 講演1 「電気と電線月ウサギから始まる EMI の理解」 EMC、EMI はキルヒホッフの2法則では理解できない現象により発生し、電気回路理論の範囲を外れることがある。むしろアンテナ理論に依るほうが説明しやすいとのこと。この間の事情を初心者向けの題材を用いて説明され、電気技術者の常識を改めるべきことを強調されました。	かがわ EMC 技術研究会会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏
4 講演2 「EMC 試験のための簡易シールドテント」 設置・撤去が容易で、高性能・安価・軽量のシールドテント「イキソルラボ」をご紹介されました。シールドテントは EMC 試験やノイズ対策で重要となる外来ノイズのシャットアウト、また製品からの放射電磁界による他への干渉を防ぐことができ、さらに電波吸収体と組み合わせることで電波無響空間を構築することも可能とのこと。	富山電気ビルディング株式会社 商事部 課長 柴田 学氏
5 講演3 「ノイズ対策におけるフェライトコアの特徴と使い方」 ノイズ対策の基本パーツであるフェライトコアの特徴と使い方について、フェライトコアの材質/形状係数、取り付け時のターン数/取り付け位置/など、実機を用いてノイズレベルを観測しながら説明された。 <座学:約 20 分>パワーポイントのスライドにて解説 <実演:約 40 分>計測器を用いたデモンストレーション <質疑:約 10 分>質疑応答	北川工業株式会社 開発本部 島倉 壮志氏



講演する古賀会長



講演する柴田氏



講演する島倉氏



研究会の模様